

放送芸術科 シラバス

科目名	企画研究			
担当教員	山崎 純:株式会社ブルームウンテン代表取締役社長で日本放送作家協会理事として、数多くの作家業務を担う実務経験のある教員。			
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	取得時間数 30
授業到達目標	★企画書作成の基礎を学ぶ。バラエティ番組からニュース番組に至るまで、全ての番組には企画書があります。その企画書の書き方の基礎を学んでもらいます。また企画書立案をするための発想力を磨き、業界人になるためのスキルアップを目指します。			
授業概要 特徴	あらゆるジャンルの番組企画を学生一人一人がプレゼンテーションします。それに対して学生全員がディスカッションをしていき、よりブラッシュした企画に上げていきます。学生それぞれが自分の意見を述べる事で、コメント力を磨いていき、授業への参加意欲を高めます。授業では学生全員必ず一回は発言する授業内容にしています。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ガイダンス 2. 企画とは何か? 3. 企画を考える 4. プレゼンテーション 5. プレゼンテーション 6. プレゼンテーション 7. 発想力とは? 8. 発想トレーニング 9. 発想トレーニング 10. 発想トレーニング 11. 企画書のレイアウト 12. 企画書発表 13. 企画書発表 14. 企画書発表 15. テスト 			
成績評価方法	100点満点として、出席状況70点、レポート15点、筆記試験15点で評価を行う。			
使用教科書等				
備考				

科目名	業界特別講座 I・II			
担当教員	岡崎 悟 他			
授業形態	1・2年次(半期)	必/選	選択	取得時間数 15
授業到達目標	★様々なジャンルで活躍している講師よりプロならではのトピックスやノウハウを聞き、放送業界への視野を広げる。			
授業概要 特徴	放送業界で活躍するプロフェッショナルを迎え、最前線で仕事をしているプロならではのトピックスや考え方を講義します。自分の目指す、または興味のあるジャンルだけでなく、今まで知らなかった世界を覗き見ること、皆さんの価値観がゆれ動くかもしれませんし、逆に疑問解決の糸口があるかもしれません。大切なのは、放送業界をあらゆる視点で眺めてみることです。			
授業計画 学習内容	2019/2020「講義I」実績 <ol style="list-style-type: none"> 1. 業界を目指す君たちへ 2. チーフADの仕事 3. ドラマ制作、プロデューサーの仕事 4. 作家の仕事 5. お笑い番組の作り方 6. 女性ディレクターから見た制作現場 	2019/2020「講義II」実績 <ol style="list-style-type: none"> 1. 制作会社が求める人材 2. ナレーターから見た制作現場 3. バラエティ番組の企画のつくり方 4. バラエティ番組のADに求めるもの 5. テレビ業界で活躍するOG 6. ドラマの演出家になるために 		
成績評価方法	出席状況80%/内容の理解度・習得意欲20%			
使用教科書等				
備考				

科目名	芸術鑑賞 I		
担当教員	瀧澤 将師		
授業形態	1年次(半期)	必/選 選択	授業形態 講義 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★ 作品を通じて感じたこと、考えたことを文章で表現する力を修得する</p> <p>★ 歴史的な過去の作品を通して、映像表現の歴史に関する知識を身につける</p> <p>★ ドラマ、映画、演劇を鑑賞し現代のエンターテインメントに関する幅広い知識を得る</p> <p>★ 日本に昔からあるエンターテインメント(歌舞伎・落語・講談など)に関する知識を身につける</p>		
授業概要特徴	<p>時代の流れの中で、人々から愛されるエンターテインメント作品は変わり続けてきた。過去のテレビドラマ、映画を見てもそれは明らかである。過去の作品を知識なく鑑賞しても、得るものは少ない。この授業は、作品を鑑賞するだけでなく、その表現の歴史に関しても紹介する。様々なエンターテインメントに関する知識を得ることは自身の思考の材料にもつながる。また、映像制作において自身の考えを、文章や言葉で伝えることは必須である。この授業はレポート提出とその内容を重要視する。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 無声映画の時代とトーキー映画① 3. 無声映画の時代とトーキー映画② 4. 時代と歌舞伎① 5. 時代と歌舞伎② 6. テレビドラマ① 7. テレビドラマ② 8. 大衆のエンターテインメント①(寄席) 9. 大衆のエンターテインメント②(寄席) 10. 日本映画① 11. 日本映画② 12. 演劇① 13. 演劇② 14. 海外映画① 15. 海外映画② 		
成績評価方法	レポート50%、出席状況50%		
使用教科書等	プリント配布		
備考			

科目名	就職講座 I		
担当教員	就職担当		
授業形態	1年次(半期)	必/選 必修	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★ 経験を振り返り文章にし、自分の言葉で語れるようにする。		
授業概要特徴	<p>入学したばかりで「就職」と言われても実感が湧かない人は多いのではないのでしょうか。この授業では、これまでの経験を振り返り文章で表現し、自分の言葉でのびのびと語ることで、自分について知り、自己理解を深めた後には自然と自己PRのコツがつかめるようになります。また、業界や職種への知識を増やすことで、自分自身の選択肢が多くなります。柔軟な職業観を培い、夢を実現するためのスキルを身につけていきます。文章力の向上や自己理解も目的としています。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 職種説明・働くということについて 3. 採用担当者の思考を意識する 4. 社会人に求められる能力 5. 社会人基礎力 6. 履歴書とは 7. 履歴書の左半分(経歴) 8. 自己分析 I 9. 自己分析 II 10. 自己分析 III 11. 自己分析 IV 12. 企業研究 13. キャリアデザイン 14. 就活の軸 Whyの繰り返し 15. まとめ 		
成績評価方法	100点満点として出席状況60点、授業内レポート20点、授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。		
使用教科書等	資料等のプリントを、適宜配布する。		
備考			

科目名		就職講座Ⅱ				
担当教員		就職担当				
授業形態		1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 講義	取得時間数 30
授業到達目標		★書類作成や面接練習をくり返し就職活動に備える。				
授業概要 特徴		企業応募用の書式で履歴書作成を行います。受験予定企業の過去問題の公開・解説も行いますので、試験本番に耐えられる実力が身につきます。面接練習を通して面接マナーを身につけ、自由に語ることでできる素地を作りましょう。憧れの仕事に就くことができるよう、基本的な力を身につけることが目的です。どのような職種でも対応できる力が身につきます。				
授業計画 学習内容		1. ガイダンス 2. 履歴書の意味 3. 採用担当者の考え 4. 基礎学力テスト 5. 活字によるコミュニケーション 6. 伝えるから伝わるへ 7. 自己PRの作り方Ⅰ 8. 自己PRの作り方Ⅱ 9. スーツ着こなしセミナー 10. 志望動機の作り方Ⅰ 11. 志望動機の作り方Ⅱ 12. 魅力の引出し方 13. ノンバーバルコミュニケーション 14. 面接対策セミナー 15. まとめ				
成績評価方法		100点満点として出席状況60点、授業内レポート20点、授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。				
使用教科書等 備考						

科目名		タレントプロダクション論				
担当教員		岡崎 悟 他				
授業形態		1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 講義	取得時間数 15
授業到達目標		★様々なジャンルの現役マネージャーの講義から、芸能事務所の仕組みやマネージャーの仕事を理解する。 ★マネジメントをする上で必要な知識やノウハウを身につける。				
授業概要 特徴		華やかなエンターテインメントの世界で活躍する芸能人。彼らを陰で支えているマネージャーの仕事は、多くの人に夢を届けること。決して憧れだけでは務まりません。スケジュール管理や体調管理、メンタルケアは勿論、プロモーション計画を立て、テレビ局・制作会社・出版社・広告代理店など、実に多くの人と関わり、積極的に営業を行います。 この授業では、様々なジャンルの芸能事務所の方に、マネージャーの具体的な仕事内容や心構えなどについて講義をしてもらいます。				
授業計画 学習内容		来校企業実績 (株) 浅井企画 (株) エクセリング (株) 太田プロダクション (株) ケイダッシュステージ (株) サンミュージックプロダクション (株) スターダストプロモーション (株) ソニー・ミュージックエンタテイメント (株) パーフィットプロダクション (有) フラーム (株) ホリプロコム (株) ワタナベエンターテイメント (株) Kiii 他				
成績評価方法		出席状況80%/内容の理解度・習得意欲20%				
使用教科書等 備考						

科目名	ドラマ企画ゼミ I・II		
担当教員	伊藤 一尋：TBSでディレクター、プロデューサーとして多数のドラマ制作の経験を有する実務経験のある教員。		
授業形態	1・2年次(半期)	必/選 選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★ドラマ制作の原点というべき企画書と台本の作り方のコツを習得する。		
授業概要 特徴	ドラマ制作の原点というべき、企画書と台本の作り方のコツを教えます。 ただ、コツを学ぶだけでなく、必ず実践してもらい、その体験を通じてドラマづくりのおもしろさや醍醐味を体験してもらえそうな内容にしていきます。		
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 何故ドラマをつくるのか？ 2. ドラマって一体何だろう？ 3. 企画・立案のコツ① 4. 企画・立案のコツ② 5. 企画書づくりの実践とプレゼンテーション① 6. 企画書づくりの実践とプレゼンテーション② 7. 台本づくりの基本① 8. 台本づくりの基本② 9. 台本づくりの基本③ 10. 台本をおもしろくするコツ① 11. 台本をおもしろくするコツ② 12. 台本をおもしろくするコツ③ 13. 台本づくりの実践と発表会① 14. 台本づくりの実践と発表会② 15. 台本づくりの実践と発表会③ 		
成績評価方法	出席状況50%/レポート50%		
使用教科書等			
備考			

科目名	番組制作基礎		
担当教員	石原 秀一 他		
授業形態	1年次(半期)	必/選 必修	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★映像の基礎知識を習得し、番組制作の実践に役立てる。		
授業概要 特徴	テレビ番組を制作するには、手順や方法といった細かなルールが存在し、単にビデオカメラで撮った映像を組み合わせれば出来上がる物ではありません。ホームビデオなどのアマチュア目線から一歩抜け出す為に、「映像の繋ぎ方」「構図」「映像の心理」「映像と音の関係」「映像と照明の関係」といった事を学び、プロとしてのビジュアル・センスを養います。テレビ番組を見る側から制作する側への第一歩の授業です。		
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 授業内容・成績評価方法等の説明 2. 番組制作における各種スタッフの役割 3. 番組制作の流れ 4. 映像の切り取り方① ～カメラサイズ～ 5. 映像の切り取り方② ～カメラアングル・カメラポジション～ 6. 撮影の基本技法 ～カメラワーク～ 7. 小テスト 8. 映像の繋ぎ方① ～イマジナリーライン～ 9. 映像の繋ぎ方② ～マッチカット・カットアウェイ～ 10. 映像を組み合わせる ～モンタージュ理論～ 11. 色温度の概要 ～ホワイトバランスについて～ 12. 映像と照明について 13. 映像と音について 14. 番組制作用語について 15. 期末テスト 		
成績評価方法	100点満点とし、期末テスト50点・出席率30点・授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。		
使用教科書等			
備考			

科目名		番組制作論		
担当教員	牧 有太：(株)テレビマンユニオンにて、人物ドキュメンタリーを中心にテレビ・広告・イベント・WEB配信等、様々な分野で演出&プロデュースを担当している実務経験のある教員。			
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★過去から現在にわたる"メディア"全体の基礎知識を学びながら、新たな時代に必要とされる映像制作の在り方を考える。現役で活躍するクリエイターとの対話を通して、多岐にわたるメディアの中で何を表現していくかを思考、それぞれの創作活動へと繋げていく事を目的とする。			
授業概要 特徴	1970年に日本で最初に設立された独立系プロダクション、テレビマンユニオンで制作された映像などを交えながら講義。 テレビ、映画、インターネットなど、それぞれのメディアからゲストクリエイターを呼び、演出論などを交えながら最新の情報を紹介、未来への表現を模索する。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. "メディア"とは何か? 3. "演出"とは何か? 4. 番組制作論 ドキュメンタリー① 5. 番組制作論 ドキュメンタリー② 6. 恋愛リアリティショー論① 7. 恋愛リアリティショー論② 8. 番組制作論 パラエティ① 9. 番組制作論 パラエティ② 10. 情報番組の作り方 11. 海外番組の作り方 12. ドラマ・映画制作① 13. ドラマ・映画制作② 14. まとめ 15. 期末試験 			
成績評価方法	出席状況/筆記試験/内容の理解度・習得意欲			
使用教科書等				
備考				

科目名		ビジネスマナー講座		
担当教員	(株)アルノ:自動車メーカーにて宣伝販促業務に携わり、その後、様々な業種業界の人材育成に関わっている実務経験のある教員。			
授業形態	1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	★ビジネスマナー、コミュニケーションの重要性を認識し、社会人に向けて好感度の高いスキルを体得する。			
授業概要 特徴	基本的なマナーエチケット、接遇能力、コミュニケーション能力は身につけていて当たり前という考えが社会や様々な場においても一般的な風潮になっています。学生としての「あるべき姿」を確認し、就職活動等に対して自信をもって臨めるように、この機会にマナーやコミュニケーション能力を高めましょう。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、講座内容について 2. ビジネスマナーの必要性とコミュニケーションの原理原則 3. キャリアデザインと意味づけ力 4. 第一印象の重要性と好印象を目指す10項目① 5. 第一印象の重要性と好印象を目指す10項目② 6. プラスイメージが伝わる敬語と言葉遣い① 7. プラスイメージが伝わる敬語と言葉遣い② 8. コミュニケーション能力が身につく話の聴き方 9. 簡潔で分かりやすい話し方 10. 自信がつく電話対応 11. 就職活動に向けて「選ばれる人財」になる(意識編) 12. 就職活動に向けて「選ばれる人財」になる(行動編) 13. 社会人基礎力(3つの能力と12の能力要素)とは 14. マナー力のある学生へのアクションプラン策定 15. テスト、まとめ、質疑応答 			
成績評価方法	授業内容の習熟度と理解度…40点、テスト…30点、出席状況を含む平常点…30点			
使用教科書等				
備考				

科目名	放送文章基礎			
担当教員	村田 陽子：フリーライターとしてTVやラジオから雑誌等の編集の他、トークショーの企画も手掛ける、実務経験のある教員。			
授業形態	1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ★ 漢字検定3級合格レベルの漢字力の習得 ★ 放送禁止用語の理解 ★ コント・再現ドラマ等のシナリオの書き方の習得 ★ ゲスト案を考える上での文化人の肩書・趣味・特技の知識を習得 ★ ナレーション原稿の書き方の習得 			
授業概要特徴	<p>放送台本には、構成台本、ナレーション原稿、シナリオなど色々あります。放送倫理(放送禁止用語・ヤラセ等)を過去に問題となった番組を例に具体的に学びます。番組用の企画書のフォーマット、原稿を書く際に注意したい事柄なども学習します。ゲスト案を考えるために役立つ文化人の肩書も把握します。コント・再現ドラマ等のオリジナルシナリオを書きあげます。文章を書く基礎として、毎週、漢字検定3級の模擬試験をします。</p>			
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. シナリオと小説の違い(ト書き・シーン)・原稿用紙の書き方 2. プロット・構成・キャラクター・伏線(フラグ) 3. 直接的な台詞を使わず、映像や展開で表現するコツ 4. 人気ドラマの採録シナリオを書く 5. コントや再現ドラマのシナリオを書く。(200字×6枚以上) 6. 放送倫理(放送禁止用語・超常現象・スポンサーとの関係) 7. 刑事ドラマの歴史・再放送が難しい例 8. ゲスト案(文化人の肩書、趣味・特技) 9. 番組用企画書やエントリーシートを書くコツ 10. 専門図書館・放送文化ライブラリー・読まれやすいお便りのコツ 11. 視聴率・芸能人のギャラ・番組での問題発言例 12. パラエディ番組の台本の書き方・放送CM用語 13. ナレーション原稿の書き方 14. OBの活躍と失敗談・マネージャーの仕事例 15. 漢字検定3級模試 			
成績評価方法	100点満点とし、シナリオ30点、テスト30点、小課題20点、出席率10点、参加意欲10点			
使用教科書等	放送文章基礎			
備考				

科目名	メディア概論			
担当教員	瀧澤 将師			
授業形態	1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ★ 放送、出版、映画業界の仕組みを理解する ★ 基本的な著作権に関する知識を修得する ★ 放送における漢字や外来語の表記に関する知識を得る ★ 「媒体」の歴史を学び、「媒体」に関する広い見識を修得する 			
授業概要特徴	<p>「メディア」という言葉の意味は媒体であり、その意味は人と人をつなぐ物である。そして多くの人を対象にした放送、新聞、出版、映画を大衆媒体、マスメディアと呼ぶのである。現在、我々の周りには様々なメディアが溢れている。今日に至るまでには、様々な事柄を通して大衆メディアとしてのルールや制作の仕組みが生まれてきた。この授業では、大衆メディアとしてのテレビを中心にその歴史やルール、制作の仕組みを理解する。</p>			
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 「媒体」とは？その歴史を振り返る① 3. 「媒体」とは？その歴史を振り返る② 4. 放送の歴史① 5. 放送の歴史② 6. 新聞・出版の歴史① 7. 新聞・出版の歴史② 8. まとめ① 9. テレビ業界の仕組み 10. 広告業界の仕組み 11. 出版業界の仕組み 12. 放送禁止用語、漢字、外来語表記について 13. インターネットの時代 14. まとめ② 15. 期末試験 			
成績評価方法	筆記試験50点・レポート20点・出席率30点			
使用教科書等	プリント配布			
備考				

科目名	Adobeソフト入門		
担当教員	宮原 彩葉：フリーランスの映像クリエイターとして、WebCM・イベント等の撮影編集技術を担当している実務経験のある教員。		
授業形態	1年次（半期）	必／選 選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	★ Adobeソフト（Illustrator/Photoshop/After Effects 等）の基本操作を修得する ★ PC（ネットワーク）の利用方法を身につける		
授業概要特徴	Adobeソフトの種類、活用方法等を学ぶ。また、Adobeソフトを使用した作品を制作する。仕事を想定したPC（ネットワーク）の利用実習。		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adobeソフトの活用について 2. Photoshopの基本操作 3. 課題① 「Photoshopでの作品制作」 4. 課題① 「Photoshopでの作品制作」 5. Illustratorの基本操作 6. 課題② 「Illustratorでの作品制作」 7. 課題② 「Illustratorでの作品制作」 8. After Effectsの基本操作 9. 課題③ 「After Effectsでの作品制作」 10. 課題③ 「After Effectsでの作品制作」 11. PremiereとAdobeソフトの連携 12. 課題④ 「Adobeソフトを利用した作品制作」 13. 課題④ 「Adobeソフトを利用した作品制作」 14. PC（ネットワーク）の実習 15. まとめ 		
成績評価方法	100点満点として、出席状況 45点、内容の理解度／習得意欲等の平常点等の平常点 55点で評価を行う。		
使用教科書等			
備考			

科目名	アビッド編集		
担当教員	松本 侑樹		
授業形態	1年次（半期）	必／選 選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	★ ノンリニア編集システムである「Avid」の基本操作と編集の考え方を習得する。		
授業概要特徴	業界標準の編集ソフト「Avid」を使用して基本操作から総合課題として自主作品を編集することにより、オペレーションと編集テクニックを習得します。PCを使用したノンリニア編集ではカットの追加・削除・並べ替えが容易に出来ることや、色を変えたり速度の変更などエフェクトが簡単にオペレーション出来ることがメリットと言われています。将来編集を目指す人はもちろん、それ以外の人でも編集を理解することで撮影のスキルアップが見込める授業内容です。		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 基本操作（カット編集） 3. 基本操作（削除・移動・割り込み） 4. 音楽データの取り込み・トラック選択 5. エフェクトの操作 6. テロップの作成方法とデザイン 7. テロップ入れ 8. ドラマ編集（トリムモード） 9. 写真データの取り込み（キーフレーム操作） 10. 動画データの取り込み 11. 課題編集 12. 課題編集 13. データの書き出し 14. おさらい 15. 実技試験 		
成績評価方法	100点満点として、実技試験40点・技術の習得度30点・授業への参加意欲等の平常点30点で評価を行う。		
使用教科書等	授業内でプリントを配布します。		
備考	実技試験で一定の基準を満たせば「学内資格」を認定		

科目名		インターネット配信入門		
担当教員		瀧澤 将師		
授業形態		1年次(短期)	必/選 選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標		★インターネット番組に関する制作の流れなど、基礎的な知識を実習を通して修得する		
授業概要特徴		現在、番組におけるディレクターや放送作家たちはテレビというメディアを越え、インターネット上に仕事を広げつつある。こうした現状を踏まえ、この授業ではインターネット配信の番組に関する現状や必要となる技術的知識、制作の流れを学ぶことを目的とする。		
授業計画学習内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. テレビとインターネット配信番組、その違いとは？ 3. インターネット配信番組制作の流れ① 企画から配信までの流れ 4. インターネット配信番組制作の流れ② コンテンツ制作で気をつけるべきこと 5. 視聴者と発信者との相互の関係 6. インターネット番組の技術的基礎知識① 7. インターネット番組の技術的基礎知識② 8. 企画 9. 台本作成 10. 放送準備① 11. 放送準備② 12. ライブ配信本番 		
成績評価方法		100点満点とし、授業への参加意欲等の平常点50点・出席率40点・レポート10点で評価を行う。		
使用教科書等		プリント配布		
備考				

科目名		映像クリエイティブ		
担当教員		齋藤 任左：テレビコマーシャルを中心に、オフライン映像編集を担当している実務経験のある教員。		
授業形態		1年次(半期)	必/選 選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標		★映像表現について「考える」ことを大きな目標とし、映像制作全般の実践的なスキルアップを狙う。		
授業概要特徴		いままで思い描いてきたアイデアや、学習してきたテクニックを実践する授業です。毎回違ったテーマがあり、企画・撮影・編集・発表をグループ単位で繰り返し行うなかで、自分なりの映像表現と自主性を養います。		
授業計画学習内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 課題① テーマ会議 3. 課題① 4. 課題① 試写会 5. 課題① 反省会 6. 課題② テーマ会議 7. 課題② 8. 課題② 試写会 9. 課題② 反省会 10. 課題③ テーマ会議 11. 課題③ 12. 課題③ 試写会 13. 課題③ 反省会 14. まとめ① 15. まとめ② 		
成績評価方法		課題80点、出席状況20点		
使用教科書等				
備考				

科目名	映像表現		
担当教員	笹原 恭 他		
授業形態	1年次(半期)	必/選 必修	授業形態 実習 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★ビデオカメラ、三脚の操作方法の修得。</p> <p>★構図のつくり方や映像での表現方法を理解する。</p> <p>★グループワークをととしてコミュニケーション能力を身につける。</p>		
授業概要特徴	<p>例えば、「死んだ街」というテーマで新宿の街を撮影したとする。この時、ただ漠然とビルや公園を撮っても、「死んだ街」にならない。風景の切り取り方、アングル、モンタージュなどによって、新宿は「死んだ街」にも「生きた街」にもなるのである。現実はある意図によって切り取られ、加工され、制作者のメッセージに姿を変える。これは、演出の原点と呼べるだろう。他の授業で習った理論の実践と独自の的方法論を確立する場にしてもらいたい。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. カメラの使用方法① 3. カメラの使用方法② 4. 課題①撮影 5. 課題①撮影 6. 課題①プレビュー・講評 7. 課題②撮影 8. 課題②プレビュー・講評 9. 課題③説明 10. 課題③撮影 11. 課題③プレビュー・講評 12. 最終課題 説明 13. 最終課題 撮影 14. 最終課題 撮影 15. 最終課題 プレビュー・講評・まとめ 		
成績評価方法	レポート・作品制作30%/習得意欲30%/出席状況40%		
使用教科書等			
備考			

科目名	シナリオ演習Ⅰ		
担当教員	里島 美和:日本放送作家協会、日本シナリオ作家協会会員として、映画やドラマの脚本・監督・構成を担当している実務経験のある教員。		
授業形態	1年次(半期)	必/選 選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	<p>★映画、テレビドラマ、アニメーション制作に必要な不可欠なシナリオとは何であるかを理解し、その書き方と、基礎的な技法を習得する。</p> <p>★構成台本及び小説、ゲームシナリオとの違いを理解する。</p> <p>★物語構成の基礎を学ぶ。</p>		
授業概要特徴	<p>佐藤健を走らせ、広瀬すずを泣かせているのは誰でしょう?演出家?プロデューサー?そのどちらでもありません。答えはシナリオライターなのです。音楽を奏するには楽譜、家を建てるには設計図が必要のように、映像作品には音声と映像、場面の内容や変化の仕方などを明白にしたシナリオが必要です。この授業ではシナリオという独特の形式と基礎的な技法を習得し、感性光るオリジナル作品を書き上げる力を身につける事を狙いとしています。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・シナリオは集団を動かす設計図 2. シナリオの書式(柱・ト書き・セリフ) 3. ト書きのきまり 4. ト書きの実際 5. 柱のたて方 6. 時間空間の処理 7. 場面転換の技法 8. セリフの役割と音声の使い方 9. シナリオライターというお仕事 10. 企画書について(プロットについて) 11. ドラマの発想法 12. シナリオの構成 13. キャラクター設定 14. ハコ書きとは何か? 15. リライトについて 		
成績評価方法	出席数(15点)と集点(85点)の合計で、100点満点とする。集点85点は、課題提出点(ト書き・柱・セリフ・キャラ・テーマ・構成の6ポイントをそれぞれ18点満点)で48点満点と、授業への参加意欲37点満点の、計85点満点にて評価。		
使用教科書等	基本からわかる 実戦シナリオ講座(映人社)		
備考			

科目名		スタジオ番組制作		
担当教員	岡崎 悟 他			
授業形態	1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 実習 取得時間数 150
授業到達目標	★スタジオにおける番組制作の、スタジオマナー、ディレクター・フロアディレクター、タイムキーパーの基礎知識・基礎技能の習得。また、情報・ドラマ・音楽番組のスタジオ収録の流れを理解。			
授業概要 特徴	スタジオでの番組制作はロケーションにおけるものと比べて数多くのスタッフが参加します。現在放送されている番組では制作・演出系のほか、映像技術・照明技術・音声技術・美術・キャストなど総勢100名を超える番組もあり、集団作業におけるマナーを守り、状況把握や的確な判断により、円滑に作業できる環境を作り出していくのが制作・演出系の重要な仕事なのです。マンツーマンで行う基礎実習でディレクター・フロアディレクター・タイムキーパーの基礎技能を学び、グループでの実践的な模擬番組を制作することで、スタッフとしての個々の責任感と集団の連帯感を同時に体得していきます。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎実習ガイダンス① 2. 基礎実習ガイダンス② 3. 基礎実習① 4. 基礎実習② 5. 情報番組ガイダンス 6. 情報番組収録① 7. 情報番組収録② 8. ドラマ収録ガイダンス① 9. ドラマ収録ガイダンス② 10. ドラマ収録① 11. ドラマ収録② 12. 歌番組ガイダンス① 13. 歌番組ガイダンス② 14. 音楽番組収録① 15. 音楽番組収録② 			
成績評価方法	100点満点とし、実技試験40点・出席率40点・授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。			
使用教科書等 備考				

科目名		PCスキルアップ		
担当教員	内野 麻由美: コンピューターメーカー勤務。企業研修や一般向けPC教室の講師を担当している実務経験のある教員。			
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	<p>★ Wordを使用して文字入力・文書編集操作方法を習得する。</p> <p>★ Power Pointを使用してプレゼン資料の作成を習得する。</p> <p>★ Excelを使用して計算式の入力・グラフの作成・データベース機能を習得する。</p> <p>★ Photoshop・Illustratorの基本操作を修得する。</p>			
授業概要 特徴	<p>ビジネス文書・企画書・決算書・プレゼン資料・フライヤーなど書類の大部分はパソコンで作成します。業界は勿論、他業種の企業においてもパソコンスキルは社会人として必須と言えます。</p> <p>この授業では、それぞれのソフトの基本的な操作を習得し更に効率よく作業ができる操作方法を解説していきます。毎回課題を作成しながら社会に出てすぐに役立つようなスキルを身につける授業です。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. Word 基本操作 3. Word ビジネス文書作成 4. Power Point スライドの基本操作 5. Power Point 効果的なスライドの作成 6. Excel 基本操作・計算式の入力 7. Excel 関数の入力・グラフの作成 8. Excel データベース機能 9. Excel 作表の応用 10. Photoshop 基本操作 11. Photoshop 素材の取込み・加工 12. Illustrator 基本操作 13. Illustrator オブジェクトの描画① 14. Illustrator オブジェクトの描画② 15. 課題作成・提出 			
成績評価方法	100点満点として提出課題90点、出席状況10点で評価を行う。			
使用教科書等 備考	資料等のプリントを、適宜配布する。			

科目名		Premiere Pro			
担当教員	渡邊 正美：プロダクション会社に所属し、映像編集作業・CM作成などを担当する実務経験のある教員。				
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習	取得時間数 30
授業到達目標	<p>★ Macの基本操作やショートカットを学ぶ。</p> <p>★ 実際の現場で使われている編集テクニックの習得。</p> <p>★ オリジナルMVの制作。</p>				
授業概要 特徴	近年、映像編集におけるノンリニア編集の割合がとて多くなっており、収録素材もテープからカードなどのファイルベースに移行しています。本授業ではMacBookProでAdobeのノンリニア編集ソフト「Premiere Pro」を使用し、基本的な3点編集からグリーンバックを使用した合成編集まで、実際にプロの現場でもよく使われるエフェクトやテクニックを学びます。				
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. Macに慣れよう・Premiere Proとは 3. Macの基本操作・Premiere Proのワークスペース 4. カット編集・3点編集 5. クリップのコピー・カット・ペースト・ショートカット 6. ビデオトランジション(ディゾルブ・スライドページビール) 7. ビデオエフェクト(モザイク・モノクロ・レンズフレア・クロップ) 8. テキスト(テロップ) 9. キーフレーム(アニメーション) 10. クロマキー合成・オーディオ設定 11. カラーコレクション・カラーグレーディング 12. 課題制作①素材の取り込み 13. 課題制作②編集(ラフカット) 14. 課題制作③編集(BGM) 15. 課題制作④編集(データ書出し) 				
成績評価方法	出席状況/課題提出/内容の理解度・習得意欲等の平均点				
使用教科書等	プリント配布				
備考					

科目名		リサーチ I			
担当教員	村田 陽子 他:フリーライターとしてTVやラジオから雑誌等の編集の他、トークショーの企画も手掛ける、実務経験のある教員。				
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習	取得時間数 30
授業到達目標	<p>★ 専門図書館でリサーチし、インタビューで役立つレポート作成。</p> <p>★ 取材のアポ取り、マナー、お礼状の書き方の習得。</p> <p>★ リサーチ内容を興味深くプレゼンし、達成感をもつ。</p> <p>★ グループ活動で協力と信頼関係を築く。</p>				
授業概要 特徴	<p>ニュース・情報バラエティーはもちろん、ドラマでもリサーチは欠かせません。</p> <p>インターネットで簡単に調べられるレベルをリサーチャーには発注しません。</p> <p>そこでマスメディアと深い関わりを持つ雑誌の専門図書館・大宅壮一文庫でリサーチし、レポートにまとめます。</p> <p>社会人としてのマナーを踏まえたアポ取り・取材を行い、グループ発表し、プレゼンテーション能力も高めます。</p> <p>将来、プロデューサー、ディレクター、放送作家を目指す人に役立ちます。</p>				
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大宅壮一文庫・人物リサーチ (ゲスト案やインタビュー、ドキュメンタリー番組での活用前提) 2. マーケティングリサーチ 3. 企画会議シミュレーション 4. 電話・FAX・メールのアポ取りの秘訣 5. 番組へのクレーム電話の対処例 6. 取材依頼でクレームになった番組の例 7. 取材のマナー (取材依頼状・お礼状の書き方。訪問時の礼儀) 8. インタビューのコツ (事前質問・リアクション) 9. 街の取材 (街のベスト5・食レポの意外な禁句) 10. 噂の真実①…「噂」と「都市伝説」を放送する際の違い 11. 噂の真実②…専門家の取材 12. 噂の真実③…噂やお役立ち情報の検証 13. プレゼンテーション (パワーポイント・VTR・フリップ等) とレポートのコツ 14. ヤラセと演出の境界・謝罪番組の例 15. リサーチャーの仕事の実際 				
成績評価方法	100点満点として、大宅文庫レポート30点、街の発表30点、噂の真実30点、出席率5点、授業への参加意欲5点				
使用教科書等	プリント等の配布				
備考	取材やリサーチの過程で各自、多少の交通費や経費がかかります。新型コロナの感染状況により、リモート取材になることもあります。				

科目名		ロケーション番組制作		
担当教員	瀧澤 将師 他			
授業形態	1年次(半期)	必/選	必修	授業形態 実習 取得時間数 90
授業到達目標	<p>★番組企画・取材・ロケハン・許可取り・台本作成・撮影・編集という番組づくりのプロセスの理解と修得。</p> <p>★学生自身で役割を分担。コミュニケーション能力とチームワークの術を身につける。</p> <p>★企画のプレゼン・プレビューを通し人前で話す力の向上。</p>			
授業概要 特徴	<p>完パケという大きな目標に向かって、班員が力を合わせ一つのを創りあげる楽しさや難しさを学ぶため10名前後のグループで”10分間のオールロケーション番組”を制作する。制作と技術のパートを全て自分たちで行うことで番組制作に欠くことのできないチームワークの大切さや”プロの卵”としての自覚を養う。またオールロケで制作するため、自分たちの都合だけで好きなように進行していくことが難しく「様々な人々との折衝」や「撮影の許可申請」などの制作プロセスを経て、番組制作を学ぶのである。「誰かがやってくれるだろう」、「これは自分の仕事ではない」と各自が考えているようでは、この実習は成立しない。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 班分け～企画会議① 2. 企画会議②(企画決定)～企画書作成 3. 企画書提出～台本作成 4. ロケハン・撮影許可書などの確認 5. ロケ準備・撮影許可、機材使用などの確認 6. ロケーション① 7. ロケーション② 8. ロケーション③ 9. ロケーション④ 10. ロケーション⑤ 11. 編集① 12. 編集② 13. 編集③ 14. 編集④ 15. プレビュー、講評会 			
成績評価方法	作品制作30%、習得意欲30%、出席状況40%			
使用教科書等	プリント配布			
備考				

科目名		ロケーション撮影基礎		
担当教員	石原 秀一			
授業形態	1年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★ロケーション撮影を円滑に進めるために必要な基礎的知識と技術を習得する</p> <p>★ロケーションハンティングのポイントや撮影許可の申請方法を知る</p> <p>★映像/音声/照明といったテクニカルな機材操作を学ぶ</p> <p>★ビデオカメラを使用し映像表現力の基礎を身に着ける</p>			
授業概要 特徴	<p>テレビ番組を制作する上でロケーション撮影は必ずと言っていいほど経験することと思います。ロケーションとはテレビスタジオ以外で撮影をすること。ロケでは屋外だけではなく店舗や公共施設でも撮影することもあります。そういった場所でトラブルや迷惑をかけないように円滑に撮影を進めるために、ロケ機材や撮影許可申請の基礎をしっかりと習得しましょう。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. ロケーション撮影とは 3. 撮影許可・道路許可申請① 4. 撮影許可・道路許可申請②/ロケーションハンティングのポイント 5. ロケーション撮影の機材紹介(カメラ) 6. ロケーション撮影の機材紹介(音声・照明) 7. A班ロケ機材実践基礎①/B班ロケハン実践基礎① 8. A班ロケ機材実践基礎②/B班ロケハン実践基礎② 9. A班ロケハン実践基礎①/B班ロケ機材実践基礎① 10. A班ロケハン実践基礎②/B班ロケ機材実践基礎② 11. A班ロケ機材実践応用①/B班ロケハン実践応用① 12. A班ロケ機材実践応用②/B班ロケハン実践応用② 13. A班ロケハン実践応用①/B班ロケ機材実践応用① 14. A班ロケハン実践応用②/B班ロケ機材実践応用② 15. まとめ 			
成績評価方法	100点満点とし内訳は課題点50点/取り組み意欲20点/出席30点とする			
使用教科書等	授業内資料配布			
備考	ロケハン実践では交通費が自己負担となります(都内)			

科目名		お笑い研究		
担当教員	ムラタ ヒデカツ：テレビ各局の、情報・バラエティー番組の構成作家を担当する実務経験のある教員。			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★お笑い芸人たちのネタを鑑賞し、それぞれの構図や笑いの本質を研究し、修得する。はたまた、5年前の、10年前の番組を観て、今も売れているタレントと居なくなったタレントを考察しましょう。			
授業概要 特徴	好きなモノを好きな時間に鑑賞できる時代。 講師が勝手に選んだ番組や芸人のライブ映像を鑑賞します。 食わず嫌いではないですが、偶然食べたモノが美味な時もあります。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「新春TV放談」を観て、テレビの流れを研究。 2. 「東京03」のコント研究。 3. 「バカリズム」のコント研究。 4. 「千原兄弟」のコント研究。 5. 「ミルクボーイ」の漫才研究。 6. 「ダウンタウン」の漫才研究。 7. 大喜利企画「大喜利番組の歴史とシステムの進化」 8. 大喜利企画「カードを使った大喜利システム」研究。 9. 大喜利企画「共感句を使用した大喜利システム」研究。 10. バラエティ番組「ゴッドタン」研究。 11. バラエティ番組「水曜日のダウンタウン」研究。 12. 昔のバラエティ番組「元気が出るTV」研究。 13. 昔のバラエティ番組「ごっつエエ感じ」研究。 14. コストパフォーマンスを考えた「働くおっさん人形」研究。 15. 企画の発想研究。 			
成績評価方法	100点満点として、レポート試験80点、授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。			
使用教科書等				
備考				

科目名		芸術鑑賞Ⅱ		
担当教員	岡崎 悟			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 講義 取得時間数 60
授業到達目標	★多くの映像作品(邦画・洋画・テレビ番組等)を鑑賞することで、ビジュアルセンスを高め、TVというメディアやエンタテインメント業界の魅力を再認識する。			
授業概要 特徴	この授業では、邦画・洋画・アニメーション、さらにはテレビ番組（ドラマ・バラエティ・ドキュメンタリー）など様々な映像作品を鑑賞する。視聴者に夢や感動、笑いを伝えるためには多くの作品に触れ、知識を深める必要がある。また、こうした経験はTVというメディアが持つ特徴を再認識することにもつながる。鑑賞後には授業時間内にレポートを書いてもらい、作品の振り返りと共に表現方法や演出力を学ぶ。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス/映画鑑賞 2. 日本映画① 3. 日本映画② 4. 日本映画③ 5. 日本映画④ 6. 日本映画⑤ 7. 外国映画① 8. 外国映画② 9. 外国映画③ 10. 外国映画④ 11. 外国映画⑤ 12. テレビ番組① 13. テレビ番組② 14. テレビ番組③ 15. テレビ番組④ 			
成績評価方法	100点満点とし、出席率90点、レポート10点で評価を行う。			
使用教科書等				
備考				

科目名		作品研究		
担当教員	石渡 裕之：広告制作会社にてコピーライターとして活躍している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	授業形態 講義 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★多種多様な映画作品を見て、様々な見方、考え方を身につける。</p> <p>★映画づくりの軸となるシナリオ構成やカメラワーク、音楽、演出などのバランス、重要性を理解する。</p>			
授業概要 特徴	<p>世界中の作品が集まる日本という国は映画的環境によって恵まれている。そうした状況に気付くどころか、昨今は話題にあがったアニメやディズニー作品しか劇場に足を運ばない、なんと“もったいない”傾向になる。</p> <p>そんな“もったいない”を少しでも解消すべく、多彩な映画を毎週1本鑑賞。多角的に考え書くことで、新たな見方、考え方に出逢うことを目指します。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(レポートの書き方)＋近年のヒット作品 2. チャールズ・チャップリン作品 3. オーソン・ウェルズ作品 4. アフレッド・ヒッチコック作品 5. 黒澤明作品 6. フェデリコ・フェリーニ作品 7. ジャン・リュック・ゴダール作品(ヌーヴェルヴァーグ) 8. アメリカン・ニューシネマ作品 9. スタンリー・キューブリック作品 10. スティーブン・スピルバーグ作品 11. ヴィクトル・エリセ作品 12. クシュシュトフ・ケシロフスキ作品 13. ヴィム・ヴェンダース作品 14. 現代アジア映画 15. 現代日本映画 			
成績評価方法	授業中のレポート/最終課題レポート/出席状況/内容の理解度・習得意欲等の平均点			
使用教科書等				
備考				

科目名		就職講座Ⅲ		
担当教員	就職担当			
授業形態	2年次(半期)	必/選	必修	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★実際の就職活動に備え実践力を身につけます。			
授業概要 特徴	<p>就職活動を目前に控え、より実践的な力が求められている時期です。「就職講座Ⅰ・Ⅱ」で培ってきた力を活かし、積極的に就職活動に取り組むことを目的としています。焦りや不安の生じる時期ですが、自分のペースで活動していきましょう。研修や就職に向けて心構えをする機会でもあります。社会人として即戦力となる基礎の力を身に付けて下さい。また、学内企業説明会を通じて企業と接点を持つことで、採用に繋がってまいります。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス/報告書類について 2. 昨年度の就職状況について 3. 企業訪問・企業説明会について 4. DMによる活動の仕方 5. 業界が求める人材 6. 面接試験対策① 7. 面接試験対策② 8. 面接試験対策③ 9. 社会人としての心得① 10. 社会人としての心得② 11. 学内企業説明会① 12. 学内企業説明会② 13. 学内企業説明会③ 14. 学内企業説明会④ 15. まとめ/就活調査アンケート 			
成績評価方法	100点満点として、出席状況70点、課題提出10点、授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。			
使用教科書等	プリント配布			
備考				

科目名		著作権ビジネス		
担当教員	日向 央：(株)TBSで著作権業務を行っている実務経験のある教員。			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	<p>★許諾を得なくても無断で使えるコンテンツの具体例を理解する。</p> <p>★番組に「音楽CD」を用いる場合、3種類の権利者が存在することを理解する。</p> <p>★番組を市販DVD化、ネット配信する時に許諾を得なければならない多数の権利者がいることを理解する。</p> <p>★著作権の裁判を学び、無断でできるか、許諾を得るかの判断力を養う。</p>			
授業概要 特徴	番組は、制作され、まず放送されます。その後、市販用DVD化され、また、ネット配信もされるなど「二次利用」も行われます。番組で音楽、美術作品、写真、映像などを用いる場合、制作の段階で著作権者の「許諾」を得なければなりません。この仕事は、番組のADさんが行うことが多いです。ドラマ番組の二次利用では、原作小説、脚本、出演俳優らの許諾を得る必要もあります。本講座では、授業のつど、私が執筆したテキストを用いて、放送の仕事に必要な著作権の知識を、すべて分かりやすい具体例をあげながら、お教えします。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス～もし著作権が存在しないと、この社会はどうなるか 2. フローチャート～許諾を得るか、無断でできるかを判断する手順 3. ツイッターなどネットに載った文章を使う場合、作者の許諾は必要か 4. 音楽の著作権者は作詞家と作曲家。歌手と楽器演奏家は、異なる権利者 5. 音楽の歌唱・演奏をスタジオで録音したレコード会社も、著作隣接権をもつ 6. 「著作権」とは、ひとつの権利ではない。細かく17種類もの権利がある 7. 著作権は「死後70年」「公表後70年」の経過などにより、消滅する 8. 私的複製、引用、報道利用、写り込み～著作権が制限される事由とは 9. 「替え歌」は違法？著作物を改変されない権利～著作人格権とは 10. テレビ番組は「映画の著作物」。その創作者は誰で、著作権は誰がもつ？ 11. テレビドラマの原作小説家、脚本家、出演俳優らが番組の二次利用でもつ権利とは 12. 一般人の肖像権、有名人の肖像権。肖像の利用に許諾は必要か 13. 旋律がどこまで似たら盗作になるのか～著作権の裁判を勉強する 14. 日本音楽著作権協会、日本音楽事業者協会、他さまざまな権利者団体 15. 試験の実施 			
成績評価方法	筆記試験。テキストの持ち込み可。100点満点の実力点に「2点×出席回数」を加えた得点で評価を行う。			
使用教科書等				
備考				

科目名		ドキュメンタリー講座		
担当教員	瀧澤 将師			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	授業形態 講義 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★ドキュメンタリーの歴史を理解する。</p> <p>★テレビドキュメンタリーの制作過程を知識として身につける。</p> <p>★特別講師の話から番組制作における実践的な知識を身につける。</p>			
授業概要 特徴	この授業では「ドキュメンタリー」について、歴史、制作過程、演出論、技術など様々な視点から学んでいく。「ドキュメンタリー」という言葉には広がりがある。「ドキュメンタリー」は手法であり、記録の積み重ねであり、情報であり、エンターテインメントである。また、授業では現場の制作者による特別講義も予定している。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. フィクションとドキュメンタリーの違いとは？① 3. フィクションとドキュメンタリーの違いとは？② 4. 「ドキュメンタリー」の歴史①映画 5. 「ドキュメンタリー」の歴史②テレビ 6. テレビドキュメンタリーの制作過程① 7. テレビドキュメンタリーの制作過程②密着 8. 映像と音楽“モチーフ、テーマの意味について” 9. 映像作品における音の重要性(録音、MA) 10. 対象の記録方法の工夫 11. ドキュメンタリードラマ“時代考証について” 12. モキュメンタリー 13. 企画のネタ探しについて 14. 制作者から聞くテレビドキュメンタリーとは？ 15. 「ドキュメンタリー」表現の可能性 			
成績評価方法	レポート50%、出席状況50%			
使用教科書等	プリント配布			
備考				

科目名	フォローアップゼミ		
担当教員	就職担当		
授業形態	2年次(半期)	必/選 選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★各自の希望に合致する就職先の実現を目指します。		
授業概要特徴	就職講座で培ってきた書類作成や面接のスキルを、実際の就職活動に生かしていきます。最新の求人情報を告知し個別面談も実施していきますので、各自の希望に合致する就職先の実現を目指せます。履歴書の見直しや面接練習をくり返し、積極的に企業へアプローチする力を身につけて下さい。引き続き、学内企業説明会も随時、行っていきます。		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 求人紹介 3. 履歴書見直し 4. 学内企業説明会 5. 個別面談 他 		
成績評価方法	100点満点として、出席状況70点、課題提出10点、授業への参加意欲等の平常点20点で評価を行う。		
使用教科書等	プリント配布		
備考			

科目名	プロデューサー講座		
担当教員	竹山 耕太郎：(株)ザ・ワークスを経て(株)macaron Labo.設立。プロデューサー・ディレクターとして数多くの番組を担当している実務経験のある教員。		
授業形態	2年次(半期)	必/選 選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★現在のテレビ業界への制作現場を理解する。また、就職活動も視野に入れ、自分がテレビ業界でどのように活躍したいかを発見する。		
授業概要特徴	テレビ業界の制作現場は今、どうなっているのか？プロデューサーを目指す方もディレクターを目指す方も、具体的かつ実践的に学べる、現役の演出プロデューサーによる講義です。		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在のテレビ業界とは？ 2. 企画書と番組。実際に放送された番組の企画意図を考察。 3. 企画書と番組。実際に放送された番組の企画意図を考察。 4. 特別課外授業 現在放送中の番組の制作現場を見学 5. 実際に制作した番組VTRで解説 プロデューサーの役割 6. 番組VTRで解説 ディレクターの役割 7. 番組VTRで解説 アシスタントディレクターの役割 8. 番組制作の大変さ、そして面白さとは。 9. 講師が実際に体験したADの日々 10. テレビ業界における制作会社 3つのタイプ 11. あなたに向いてる制作会社を診断 12. 実践！企画書のアイデアを考えてみる 13. 企画書アイデアに対するテレビ局の評価 14. ネットが面白い！これからのテレビが向かう未来 15. 質問大会。テレビ業界のことぜんぶ答えます ※内容、スケジュールについて一部変更あります		
成績評価方法	100点満点として、授業への参加意欲等75点、筆記レポート試験25点で評価を行う		
使用教科書等	資料等のプリントを適宜配布する		
備考			

科目名		マネージャー講座Ⅰ		
担当教員	鷗坂 勝：(株)ホリックス (株)浅井企画マネージャー (株)ワイルドビジョン代表取締役(プロダクション経営)を経て、(有)シャイニングウィル統括部長としてマネージメントを担当している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	取得時間数 15
授業到達目標	★マネージャーの仕事について様々な観点から考察し、理解する。 ★ゲスト講師の講義から、テレビ番組制作・イベント・舞台製作などの現状を知る。			
授業概要 特徴	マネージャーといっても何の仕事をしているのか、理解出来ないと思います。現場に着き、スケジュール管理ぐらいの仕事しか思いつかないかと思いますが、それだけではありません。「営業、企画、育成、戦略」ほかいろいろあります。この講座では丁寧語や挨拶、会話などを学んでもらえればと思います。マネージャーもジャンルによって違います。各ジャンル(俳優、女優)、(バラエティー)、(アイドル)、(ミュージシャン)の現場マネージャーや、タレント、芸人にも来てもらい、タレントから見たマネージャー目線のアドバイスも頂きたいと思います。各自の個性が発揮でき、自分がはたしてどのジャンルのマネージャーに向いているのかを、この講座で見つけてくれるれば幸いです。天才だろうか、おバカさんだろうか、先が読める、人の意見が聞ける人材こそが、マネージャーだと思います。そうなれるように少しでも、キミ達の力になれたらと思います。テレビ番組、イベント、舞台も手掛けているので、全部ひっくるめて話したいと思っています。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. お試し授業(マネージャー・制作とは?) 2. 講師と生徒とのコミュニケーション① 3. 講師と生徒とのコミュニケーション② 4. 講師と生徒とのコミュニケーション③ 5. 各ジャンルのゲストを迎えて現在の業界の現状① 6. 各ジャンルのゲストを迎えて現在の業界の現状② 7. 各ジャンルのゲストを迎えて現在の業界の現状③ 8. テスト～総まとめ 			
成績評価方法	筆記試験(レポート形式)50点/出席状況30点/内容の理解度・習得意欲等の平常点20点			
使用教科書等				
備考				

科目名		マネージャー講座Ⅱ		
担当教員	石沢 綾子：菊池桃子・かたせ梨乃などの多くのマネージメントの経験を有する実務経験のある教員。			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	取得時間数 15
授業到達目標	★マネージャー及び業界の仕事について理解を深める ★ビジネスマナーやコミュニケーションスキルの向上を目指す			
授業概要 特徴	マネージャーの仕事にマニュアルはありません。労働基準もケースバイケースで担当分野、タレントのジャンル、会社の形態によって様々です。そこで重要となる人と人との関わり＝コミュニケーションを最も重要に考え、現場や周囲との関わりををよりスムーズにこなせるよう長年のノウハウや今現在の状況を伝えていきつつ個々のアピール能力を高めることを考えます。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. マネージャーとは? 2. 業界の現状 3. スカウト 4. 育成 5. 営業 6. 管理 7. 企画・戦略 8. これからの業界 9. まとめ 			
成績評価方法	出席状況・レポートetc提出物の中身、授業態度(習得意欲等)			
使用教科書等				
備考				

科目名	ワンオペレーション講座		
担当教員	宮原 彩菜：フリーランスの映像クリエイターとして、WebCM・イベント等の撮影編集技術を担当している実務経験のある教員。		
授業形態	2年次（半期）	必／選 選択	授業形態 講義 取得時間数 30
授業到達目標	★ワンオペレーションでの映像制作について、基礎知識を身につける ★ネットワーク（PC）の利用方法を理解する		
授業概要 特徴	映像制作について、制作・演出以外（撮影・編集・ライティング等）の知識を習得する。また、データの受け渡し等、ネットワーク（PC）を利用したワークフローを習得する。		
授業計画 学習内容	1. ガイダンス 2. ワンオペレーションとは 3. 映像制作におけるワークフローの基本 4. ワンオペレーション撮影について（準備編） 5. ワンオペレーション撮影について（演出編） 6. ワンオペレーション撮影について（技術編） 7. ワンオペレーション撮影について 1 8. ワンオペレーション撮影について 2 9. ワンオペレーション撮影について 3 10. 映像鑑賞と講評 11. 映像制作におけるデザインを学ぶ 12. 映像制作におけるデザインをつくる 13. ネットワークの活用 1 14. ネットワークの活用 2 15. ワンオペレーションでの映像制作まとめ		
成績評価方法	100点満点として、出席状況 45点、内容の理解度／習得意欲等の平常点等の平常点 55点で評価を行う。		
使用教科書等			
備考			

科目名		構成台本演習		
担当教員	清水 正人：コーディネート会社に所属し、NHKを始め、テレビ・ラジオ番組のリサーチ・構成を担当している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	★TV番組の企画の仕方、また構成の基本・原理を修得。実際にTV番組を企画、番組の構成ができるようにする。			
授業概要 特徴	HP・ブログ・SNSを通じ、テキスト・音声・動画で、簡単に個人が情報発信できる時代になっています。今年「自己紹介」を出発点に授業を進めます。受講者一人一人が「自己」を表現し一つの形にすること。そこからテレビ番組の企画・構成に発展させます。授業は、企画会議を行ったり、提案した企画のシミュレーションを行うなど、受講者が積極的に参加する実践的なものとなります。			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介は番組だ 2. 自分取材する 3. いかにか捨てるか 4. 3×3×3とは？ 5. 序破急、起承転結 6. 自分のキャッチフレーズ 7. 30秒、1分、3分の自己紹介 8. 友達を他の友達に紹介する 9. 好きな有名人を紹介する 10. 好きな物を紹介する 11. 知らないことを紹介する 12. 現在、放送中のTV番組を紹介する 13. これまでの「紹介」を企画書にする 14. プレーンストーミング 15. 企画をプレゼンする 			
成績評価方法	100点満点とし、期末レポート50点、出席状況、授業中の発言、意欲等の平常点50点で評価を行う。			
使用教科書等 備考	プリントを適宜配布する			

科目名		シナリオ演習Ⅱ		
担当教員	里島 美和：日本放送作家協会、日本シナリオ作家協会会員として、映画やドラマの脚本・監督・構成を担当している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	<p>★1年次の基礎を踏まえ、各自、30Mから1Hのオリジナル作品を書き上げる事が目標です。</p> <p>★個別に面接を繰り返す、マンツーマンの実作指導が受けられます。</p> <p>★現場と同じスタイルで筆を進めることで、即戦力を身につけられます。</p>			
授業概要 特徴	<p>ホン屋（脚本家）の仕事は孤独な作業です。自分に厳しく、スケジュールの管理をする事もまた、技量の一つです。しかし、楽しみながらモノを作る事には何ら変わりはありません。</p> <p>企画を練ってテーマを絞り、構成を固めて人物を構築。そして、執筆に入ります。その一つ一つを確実にマスターしていきます。目標は短編シナリオの完成ですが、能力に応じて、30分から1時間の尺で枚数を選ぶことができます。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・執筆スケジュール 2. テーマとモチーフ、構成、キャラ設定 3. 個人面談1 4. 個人面談2 5. プロット執筆1 6. プロット執筆2&プロット提出 7. ハコ書き執筆1 8. ハコ書き執筆2 9. シナリオ執筆1 10. シナリオ執筆2 11. シナリオ執筆3 12. シナリオ執筆4 13. シナリオ執筆5 14. リライト 15. リライト&シナリオ提出 			
成績評価方法	出席数（15点）と果点（85点）の合計で、100点満点。果点85点は、課題提出点（ト書き・柱・セリフ・キャラ・テーマ・構成の6ポイントをそれぞれ8点満点）で48点満点と、授業への参加意欲37点満点の、計85点満点にて評価。			
使用教科書等 備考	プリントを配布、DVD使用			

科目名		制作ゼミ（グループ）		
担当教員	藤田 浩和：テレビ番組制作会社最高責任者として、民放テレビ局情報系番組ディレクターを担当。労働者派遣事業派遣元責任者等の資格も有する実務経験のある教員。			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 講義・実習 取得時間数 120
授業到達目標	<p>★ テレビ業界の現場で役立つ映像制作をグループ構成で修得する</p> <p>★ 制作における団体行動・計画実行・指揮統制の難しさを身につける</p> <p>★ 企画立案・構成台本・情報収集・取材撮影・編集作業を体験する</p> <p>★ プロフェッショナルを目指すため講義と実習で番組制作プロセスを理解する</p>			
授業概要 特徴	<p>ドラマ以外のジャンルでスタジオを使用しない15分間の番組を制作します。</p> <p>各グループ内で決められた役割分担を全うし、協力しながら一つの作品を作り上げます。</p> <p>企画から完成まで決められた条件下で、すべて自分たちの力だけで制作します。</p> <p>作品のクオリティやグループ内のコミュニケーションスキルも要求されますが成長して自信が持てます。</p> <p>制作する楽しさ、難しさ、苦労、感動を得られ、番組制作への意欲と視野が広がります。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゼミ内容説明／制作ガイダンス 2. アンケート調査／個人面談 3. 制作講座／グループ編成 4. グループ面談／ディスカッション 5. 企画立案／リサーチ 6. プレゼンテーション／企画書作成 7. 技術レクチャー／ロケハン 8. ロケ構成案作成／ロケ許可取り 9. 撮影実習／全体構成案 10. 最終プレゼン／グループヒアリング 11. ロケ取材／素材チェック 12. 追加取材／台本作成 13. オフライン編集／編集チェック 14. 修正作業／MA作業 15. 完成／プレビュー発表会 			
成績評価方法	100点満点 【習得意欲等平常点：30点・作品提出評価：30点・実習理解度：30点・レポート：10点】			
使用教科書等	プリント配布			
備考				

科目名		制作ゼミ（個人）		
担当教員	齋藤 任左：テレビコマーシャルを中心に、オフライン映像編集を担当している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次（半期）	必／選	選択	授業形態 実習 取得時間数 120
授業到達目標	<p>★ オリジナルの映像作品を期限内に提出する。</p> <p>★ 映像ならではの表現を模索し、個人制作に必要な自主性や行動力を身につける。</p>			
授業概要 特徴	<p>テーマに沿った小課題をこなしつつ、最終課題としてオリジナル作品を創作する授業です。</p> <p>企画も撮影も何もかも、自分から行動しなければ進みません。主体的なもののづくりを実践することで、映像制作全般のスキル向上を目指します。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 最終課題 説明会 3. 課題① 4. 課題① 5. 課題① 6. 最終課題 企画書チェック 7. 課題② 8. 課題② 9. 課題② 10. 最終課題 企画書チェック 11. 課題③ 12. 課題③ 13. 課題③ 14. 最終課題 試写会 15. 最終課題 試写会 			
成績評価方法	課題80点、出席状況20点			
使用教科書等				
備考	最終課題の提出は夏季休講中になる可能性あり			

科目名	番組制作アドバンス		
担当教員	石原 秀一		
授業形態	2年次(半期)	必/選 選択	授業形態 実習 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★就職先で即戦力となるよう、今まで学んできた知識と技術を振り返る</p> <p>★インタビュー等、機材の操作を含む基礎撮影方法をおさらい</p> <p>★ビデオカメラなどを使用し、映像表現力をアップする</p>		
授業概要特徴	<p>さあ、いよいよエンタメ業界が目の前までやってきました。今まで学んできたことをフル活用して現場で活躍してほしいところですが・・・。もしかして忘れてしまっていることも中にはあるのでは。ということで2年間の授業をぎゅっと凝縮して復習しましょう。また、即戦力のある人材になれる業界の知識と技術もレクチャーいたします。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 番組制作の基本ふりかえり 3. 撮影許可・道路許可申請の確認 4. ロケーションハンティング応用編 5. ロケ車両やロケ弁など各種手配の方法 6. インターネットを使用したミーティング 7. ロケーション撮影機材復習(カメラ・照明・音声) 8. ロケーション撮影講座応用編 9. 街頭インタビュー実習(ミーティング) 10. 街頭インタビュー撮影① 11. 街頭インタビュー撮影② 12. 情報紹介VTR制作(ミーティング) 13. 情報紹介VTR制作・物撮り体験① 14. 情報紹介VTR制作・物撮り体験② 15. まとめ 		
成績評価方法	100点満点とし内訳は課題点50点/取り組み意欲20点/出席30点とする		
使用教科書等	授業内資料配布		
備考			

科目名	番組制作演習		
担当教員	岡崎 悟 他		
授業形態	2年次(半期)	必/選 選択	授業形態 実習 取得時間数 210
授業到達目標	<p>★番組制作を通して、演出や進行などの知識・技能の習得。</p> <p>★他セクション(映像・照明・音声・美術)の仕事内容等の理解。</p>		
授業概要特徴	<p>1年次で行った実習を基礎として、放送芸術科・放送技術科・照明クリエイティブ科・放送音響科・テレビ美術科の全学科が協力し、様々なジャンルの番組(音楽番組・情報番組・バラエティ番組等)を制作。企画から放送までのすべてのプロセスを自分たちの手でやる。放送芸術科は、プロデューサー・ディレクター・アシスタントディレクター・構成・タイムキーパーを担当。スタジオ、中継、VTR制作の演出及び進行として役割を担う。各々のスタッフが自分の責任を果たし、十分なコミュニケーションを図ることで、役割や仕事への理解を深めていく。</p>		
授業計画学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス① 2. ガイダンス② 3. ガイダンス③ 4. 音楽番組企画発表 5. 音楽番組全体会議 6. 音楽番組技術打合せ 7. 音楽番組本番 8. 情報番組企画発表 9. 情報番組全体会議 10. 情報番組技術打合せ 11. 情報番組本番 12. 自由課題企画発表 13. 自由課題全体会議 14. 自由課題技術打合せ 15. 自由課題本番 		
成績評価方法	100点満点とし、授業への参加意欲等の平常点50点・出席率40点・レポート10点で評価を行う。		
使用教科書等			
備考			

科目名		リサーチⅡ		
担当教員	瀧澤 将師			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習 取得時間数 30
授業到達目標	<p>★ プレゼン方法（PREP法、ホールパート法）の理解と修得。</p> <p>★ リサーチ方法の手段（国会図書館利用等）の修得。</p> <p>★ アカデミックディベートやクイズ作成を通したリサーチによる情報収集や情報の整理する力を身につける。</p> <p>★ 番組研究を通して構成やキャストのねらいを理解する。</p>			
授業概要 特徴	<p>リサーチは番組づくりの基礎である。番組の演出を考え、どこまでリサーチしたかが番組の質を左右する。授業では"調べる"ことに焦点をあて、書籍やインターネットからの情報収集だけでなく、インタビューなどを通した生きた情報の収集も行う。また調べた結果はパワーポイントや動画などでプレゼンテーションし、伝える力も磨いていく。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. リサーチ方法、プレゼン方法（PREP法、ホールパート法） 3. プレゼン課題① 4. プレゼン課題① 5. ディベート①（説得する為の情報収集） 6. ディベート② 7. プレゼン課題② 8. プレゼン課題② 9. 国会図書館①（過去のニュースを探す） 10. 国会図書館② 11. クイズ作成対決 12. 番組になる景色を探す① 13. 番組になる景色を探す② 14. インタビュー（私の友人を紹介します） 15. インタビュー 			
成績評価方法	レポート50%、出席状況50%			
使用教科書等				
備考				

科目名		ワンオペレーション制作		
担当教員	宮原 彩葉:フリーランスの映像クリエイターとして、WebCM・イベント等の撮影編集技術を担当している実務経験のある教員。			
授業形態	2年次(半期)	必/選	選択	授業形態 実習 取得時間数 60
授業到達目標	<p>★ 撮影・編集のスキルアップ</p> <p>★ 作品制作のワークフローや、必要な知識を習得する</p>			
授業概要 特徴	<p>卒業後、即戦力の人材として働けるように様々なジャンルやシチュエーションでテーマを設け、スマートフォンカメラ（デジカメ、一眼レフ）などを使用し撮影・編集を行う。</p>			
授業計画 学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 「一眼ムービーについて」 3. 撮影「課題Ⅰ」 4. プレビュー 5. 撮影「課題Ⅱ」 6. 撮影・編集 7. プレビュー 8. 撮影「課題Ⅲ」 9. 撮影・編集 10. プレビュー 11. 「ワンオペレーション撮影について」 12. 撮影「課題Ⅳ」 13. 撮影 14. 撮影・編集 15. プレビュー 			
成績評価方法	100点満点として、出席45点、目標到達度40点、レポート15点で評価を行う。			
使用教科書等				
備考				